地盤改良体の大型一軸圧縮試験

＜大型供試体を用いた地盤改良体の一軸圧縮試験：杭強度試験棟にて＞

建物・構造物を建てる前に軟弱地盤など“弱い地盤”に対しては「地盤改良」が施されます。

改良後の地盤強度は通常小さな試験体（直径 50mm、高さ 100mm の円柱形）の一軸圧縮試験によって確認されますが、実際の強さより1、2割大きく観測されることが知られています（主に寸法効果による）。

この実験は、実大規模の大型供試体（直径 600mm、高さ 1200mm の円柱形）を作製して一軸圧縮試験を実施したもので、実際に施工する地盤改良体の圧縮強度を“より実態に近く”推測することにつなげることができました。